

一般質問

白馬 康進 議員

○ 津別町森林バイオマス熱電利用構想の取り組みについて

茂呂竹 裕子 議員

○ 町有建物の形状及び管理について

役場横
ペレットボイラー施設



町長
この構想は、丸玉産業と連携した熱供給事業が主要な取り組みでありましたが、熱供給を行うために必要となる蒸気がボイラーの容量不足により生産できなくなる恐れがあることや、蒸気を発生するために必要となる林地未利用材などの燃料の収集方法がまだ

町長
再生可能エネルギーの複合利用に向けて、ペレットと太陽光の結び付きだとかそういうことも何をどうすれば有効的なのか、今後継続されていく津別町森林バイオマス利用推進協議会の中で検討していきたい。

白馬議員
町としてペレット導入の拡大はわかりませんが、他にも地熱や太陽光などの複合的な再生エネルギー活用を選択肢もいろいろあると思いますが、この辺をどう考えているのか。



議員

町森林バイオマス熱電利用構想
中止に対し今後の取り組み方は

町長

協議会の中で検討していきたい

白馬議員
森林バイオマス資源を利用したまちづくりを目指し、平成25年に津別町森林バイオマス熱電利用構想を策定し、これに沿って今日まで取り進めてきましたが、今回この計画を断念することに対し、今後の取り組み方を伺いたい。

試行の段階であり、必要量の確保が困難であると考えられることなどから、安定した熱供給が行えない可能性があるとして、事業辞退の申し出がありました。今後は、この構想に即し木質ペレットボイラー導入拡大などを検討しながら取り組んでいきたい。



議員

旭町団地住民の苦情に
対し改善策はあるのか

町長

問題についてはどう対応しようか

町長
居間に採光を取り込むため、屋根の勾配は玄関側につけ、落雪防止のため2%に抑えました。屋根から落ちる水はトラフや砂利に処理される水はトリアですが、今年は大雪で屋根の水が軒下で凍り危険な状態となり、逆勾配の水が玄関に入るなどし、凍結防止剤、ピリ砂利で対応しました。今後、樋や雪止めの設置、雁木等で

町長
敷地管理については、団地内の広場は芝生が多く、高齢者には難しいので、共益費の中の一部を草刈費として町が行います。住宅周辺や道路の最低限の範囲でのご協力をお願いしています。
実際建ってみて風向きが変わったり問題が生じるのは当然あり得るので、そういうものにはきちんと対応していきたいと考えています。



旭町団地の玄関前の様子

茂呂竹議員
旭町団地は入居から1年経ち、問題が出ていると聞きました。屋根に勾配がなく春先雪解け水が玄関前で山状に凍り滑って危険だ、玄関が低い
ため水が入る、地下に水が溜まるなどの心配と、広い敷地の管理は高齢、病人が多く行えないというものです。降雪地帯の屋根の形状、湿地の対応及び広大な敷地を住民に管理させる事の無理について改善策を伺います。

通路を確保するなど協議中で、決まり次第実施します。
床下ピットはコンクリートで囲い、蓋は防水加工で湿気が上がることはありません。
今後とも調査点検を継続し、地下水の流水を抑える防水処理を行います。

一般質問

佐藤 久哉 議員

- 自治会活動に対する個人情報の提供のあり方について
- 津別町移住・定住促進事業について
- 統一デザインと看板作成について



議員

町長

自治会への個人情報 提供はできないか

秘守契約を結び提供したい

佐藤議員
自治会の災害時を含めた自治会活動推進のために、転出入者の了解を得たうえで個人情報の提供はできないか。

町長

現在、転入については、届け出の担当である保健福祉課から自治会の担当課である住民企画課の窓口以案内し、ごみ分別の説明とともに、自治会組織の趣旨説明をしながら情報提供の承諾を得て、当該自治会に知らせていますが、転出については知らせていません。今後は転出・転居についても個人情報の取り扱いに配慮しながら自治会に提供していきたい。また、自主防災等のための住民の情報提供については、守秘義務、管理責任者の特定などを規定した「個人情報保護に関する協定書」を取り交わし、自治会において、自治会規約に「個人情報に関する取扱い」に関

する条文を追加する改正と、その詳細を「個人情報の取り扱い方法」として、別に定めていただき、整備が整った自治会への情報提供を行うようにしたいと考えています。

議員

HPなどの移住 情報が不足では

不足しているので 早急に対応したい

町長

佐藤議員

町の移住・定住のHP（ホームページ）の情報が不足しています。津別町独自の求職情報や、子育て支援情報、詳しい空き家情報をのせるべきではないでしょうか。

町長

ホームページの情報が不足していることについては早急に対応していきたいと思います。

佐藤議員

お話し暮らしの住宅が不足していると思いませんか？

町長

みいとインつべつのコンドミニアムで対応していきたいと考えています。

佐藤議員

国の地方への高齢者移住促進という考え方をどう思いますか。

町長

現在さまざまな施設に待機者を抱えており、地方は余裕があるといわれても、それはちよつと違うのではと考えています。

議員

統一デザインと看板 はどう進めるのか

もう少し検討 期間が欲しい

町長

佐藤議員

後期総合計画の中で「町全体を案内する看板」の作成が優先度Aで計画されていますが、前期計画の中でも達成で

きなかつたこの事業をどう進めていくのか考えをお聞きたい。

町長

「歩いて暮らせる木の住まいづくり」を基本理念とした「住生活基本計画」により進めている公営住宅の建て替えや、認定こども園の建設など大規模な事業を進めていることから、看板の設置場所はもとより、構想が固められずにいます。「町全体を案内する看板」については、長期間使用が求められ、観光客や来町者に対する町の顔となる重要な存在になることから、設置する場所や色、デザインなど十分検討する必要があります。現在、中心市街地活性化などについて協議、検討を進めています。「まちなか再生協議会」において、筑波大学の支援とともに十分検討してもらい、提案をいただきながら、統一的なデザインによる看板の設置に向け、事業を推進していく考えです。



一般質問

山内 彬 議員

- 台湾彰化県二水郷との交流について
- 社会保障・税番号制度と選挙制度について



議員

台湾二水郷との交流の取り組み方は

中学生による相互訪問

交流を進めたい

山内議員

友好都市・台湾二水郷との交流を今後どう進めていくのか伺いたい。

町長

新郷長に対し、未来を担う子どもたちの相互交流についての手紙を送付しました。

郷長から「双方の青年学生交流が早期に実現できるように期待している」旨の返事がありました。

日台親善協会とも十分連携を図りながら、親善をはじめ交流の取り組みを進めていきたいと考えています。

山内議員

日台親善協会に対し町はどのような支援を考えているのか。

町長

事務局員を役場総務課が担うという形で支援をしています。

山内議員

中学生の相互交流実施計画についての基本的考え及び目的を伺いたい。

町長

二水郷より着地接待という方式による費用負担の提案があったので、基本的にはその方向を進めたい。

具体的な計画については、11月に3人を派遣し当地と十分協議のうえ交流事業を実施していきたい。

議員

マイナンバー制度と行政事務の関係は

町長

税と社会保障の
手続きにおいて利用

山内議員

マイナンバー制度と行政との関係はどのようになるのか。



着地接待とは
相手国への渡航費用はそれぞれが負担し、到着後にかかる費用は相手側がもつというもの。

町長

平成28年1月1日より税と社会保障の手続きにおいて、利用が開始されます。

山内議員

住民への情報周知はどのように進めるのか。

総務課長

広報やホームページで周知を図っていきたい。

山内議員

高齢者が多いので自治会毎に出前講座などすべきではないか。

総務課長

担当課とも十分連携を図り、広報やチラシを含めまちづくり懇談会や自治会説明会など検討していきたい。

山内議員

個人情報セキュリティ対策はどうか。

町長

厳格な取り扱いが求められているので、条例及びセキュリティポリシーを改正し対応します。

山内議員

公職選挙法が変わり18歳から選挙権を有することとなりますが、所見と地方への効果について伺いたい。

町長

全国で240万人が新たに有権者となります。新たな有権者の皆さんには、よく考えた投票を行い、日本の未来に参画してほしい。また、政治において若者の声が生かされる効果を期待しています。

山内議員

18歳以上といえば高校生が該当になるが、学校教育において影響があるのではないか。

町長

既に各地の教育現場では模擬投票など主権者教育が始まっています。政治的中立を確保しながら学校教育が行われることに期待したい。

一般質問

篠原 眞稚子 議員

- 子ども・子育て支援について
- 5歳児健診について



議員

保育サービス、人員は十分か

町長

保育士が不足している

篠原議員

子ども・子育て支援制度により、幼稚園と保育所を一体化した認定こども園が運営されています。幼児教育、保育は、生きていく力の基礎となるため、とても大切であると言われていきます。保育の質を上げる努力が保育施設にも自治体にも求められていると専門家も話しています。

保育サービスの中から、一時保育や預かり保育の枠が少なく利用できないという声を聞きますが、人員は十分なのか伺います。

町長

一時保育については、こども園で2歳児の利用が予想を超えていることから、そちらに保育士を充てたため、何件かお断りしたと聞いています。町内に保育士の資格を持つている方もいると思いますので、それらも含めて検討したい。

篠原議員

バスの利用中に体調を崩したりした時に対処できる大人がいなく、不安があるとの声について考え方を伺います。

町長

こども園の開園により、活波線と東岡線を含め、上里線、相生線の4路線を走る混乗スクールバスにより通園しているところでは、運行方法にあたりましては、各地の地域説明会での了解をもとに進められてきています。



また、バスには小・中学生も乗っていることから、幼児に何かあった場合、彼らが対応することも一つの教育の場であるとの考え方もだされたと聞いています。もう少し時間をかけ様子をみたい。

篠原議員

議員

就学を見据えたら5歳児健診はできないか

町長

相談の場を設けるためにも実施したい

5歳児健診は、学習障害や多動性などの発達障害の早期発見に効果を上げています。現在津別町では、1歳6ヶ月と3歳児健診を実施していますが、その後については就学前健診が少なく、その時点で何らかの障がいが発見されないまま時間がかかり、適切な対応や対策を講じることなく就学を迎えることになり、さらに悪化することにもなります。

5歳児健診は小学校生活をスムーズにつなげていくためにも必要であり、実施すべきだと思いますが、考え方を伺います。

町長

5歳児健診の目的は、3歳児健診までの疾病や発育の問題の早期発見ではなく、発達上、行動上に支援を必要とする子どもを早期に発見し、必



乳児健診の様子

要な支援につなげ、就学後の不適応を少なくすることでありますが、そのための発達専門医などの専門健診スタッフの確保、就学相談をはじめとする健診後フォロー体制づくりが困難なために現在実施できずにいるところです。

当町の1歳6ヶ月健診と3歳児健診受診児の約6割から7割に運動面、言葉、コミュニケーションなどに遅れが見られる子どもがいます。

現在、それらの特性について保護者と共有することが難しい状況にありますので、集団生活で特性が目立ち始める時期に5歳児健診を実施し、改めて保護者と就学を見据え相談する場を設ける必要があると考えているところです。